

# 韓国語動詞겹치다 [gyeopchida] の多義構造

李 澤 熊

キーワード：겹치다 [gyeopchida]、多義語、多義的別義の認定、隠喩、換喩

## 1. はじめに

現在刊行されている辞典・辞書類を調べてみると、韓国語動詞겹치다 [gyeopchida] は多様な意味を担っている多義語（注1）として扱われているが、それらの意味記述は必ずしも十分とは言えない。当然のことながら、それぞれの複数の意味（別義）の相互関係も不明確なままになっている（注2）。

そこで本稿では、辞典・辞書類における겹치다 [gyeopchida] の記述を踏まえて、それが持つ複数の意味（多義的別義）と別義間の相互関係を明らかにする。なお、別義間の相互関係については、隠喩（メタファー）と換喩（メトニミー）という2つの比喩の観点から考察する（注3）。それぞれの定義は（2003）に従い、以下のように示す。

メタファー：2つの事物・概念の何らかの類似性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表すという比喩。

「類似性に基づく」というのは、2つの事物・概念に類似性が内在しているというよりも、人間が2つの対象の間に主体的に類似性を見出すことを表していると考えたほうが適切である。（p.76）

メトニミー：2つの事物の外界における隣接性、さらに広く2つの事物・概念の思考内、概念上の関連性に基づいて、一方の事物・概念を表す形式を用いて、他方の事物・概念を表す比喩。（p.83）

以下では、（2003:76-87）に従い、それぞれの比喩の例をあげる（注4）。本稿の考察と直接関係する部分を中心に紹介する。

まず、メタファーの例を見てみよう。

- (1) 正月休みに食べすぎて、ブタになってしまった。
- (2) a. ところによってはにわか雨が降るでしょう。

b. このところいい天気が続いている。

例(1)における「ブタになってしまった」は、ブタの太っている(と一般に思われている)体型と例(1)の文の発した人の体型の類似性に基づき、ブタという語を<太っている人間>を表すのにも使っていることになる。

例(2a)の「ところ」は概略<空間的範囲>と考えられ、例(2b)の「ところ」は空間ではなく時間に関わる意味であり、およそ<時間的範囲>と考えられる。空間と時間は明らかに異なる領域であるが、「ところ」という語は、それぞれの領域において、何らかの<範囲>を表すという共通点があるため、<空間的範囲>という基本的な意味から、<時間的範囲>という意味にも拡張していると考えられる。なお、日本語においてメタファーに基づく空間から時間への意味拡張は広く見られる(「A 大学は駅から遠い／これは遠い昔の話した」「突然友達が来た／やっとな春が来た」)。

次に、メトニミーの例を取りあげる。

(3) 黒板を消す。

(4) 扇風機が回っている。

(5) うちの子は全然言うことを聞かない。

(6) この問題を前にして頭を抱えてしまった。

まず、例(3)の「消す」対象は黒板ではなく黒板に書かれた文字などであるから、「黒板」という語で、<黒板に書かれた(黒板に隣接している)文字など>を表していることになる。

次に、例(4)の「扇風機」は、「回る」という動詞から<扇風機>そのものではなく、扇風機の一部である<羽根>を指している。このように、本来、ある物の全体を表す語で、その物の部分を表すという場合もメトニミーである(注5)。

続いて、例(5)の「言うことを聞く」という句は、字義通りには概略<(相手の)発話を聴覚でとらえる>ということであるが、慣用的意味として<(相手の)発言・指示に従う>という意味も表す。ここで、(相手の)発話を聴覚でとらえることと、(相手の)発言・指示に従うことは時間的に連続して生じる場合である。つまり、相手の言うことを聴覚でとらえ、内容を理解し、その内容が自分に何かをやることを求めるものである場合、その指示や命令に従って何かを行うという一連のプロセスが考えられる。このようなプロセスを踏まえて、本来、時間的に先行する<(相手の)発話を聴覚でとらえる>ということを表す「言うことを聞く」という表現が、時間的に後続する<(相手の)発言・指示に従う>という意味まで表せるようになってきているわけである。

最後に、例(6)の「頭を抱える」は、2つの事柄が同時に生じることに基づき慣用的意味が成立していると考えられるものである。つまり、「頭を抱える」は、字義通りの動作と〈困り果てる〉という精神状態が同時に生じる場合があることに基づき、慣用的には(動作を伴わない場合でも)このような精神状態を表すことができるわけである。

以下では、겹치다 [gyeopchida] が持つ複数の意味(多義的別義)を明確にした上で、上記の2つの比喩の観点から別義間の相互関係(多義構造)を明らかにしていく。

## 2. 겹치다 [gyeopchida] の意味分析

本節では、겹치다 [gyeopchida] について6つの多義的別義を認め、考察を行う。

### 2.2.1. 多義的別義(1)(基本義): 〈ある事物の〉〈上下・前後に〉〈同類または異なる事物が〉〈(知覚上)密接して〉〈位置する〉

- (7) 사각 티슈 한장은 얇은 2장으로 겹쳐져 있다.  
(zesch.net/bbs/zboard.php?id=zesch\_essay&no=84)  
(四角いティッシュ一枚は薄い2枚に겹쳐져 [gyeopchyeojeo](≒重なって)いる)
- (8) 우라 나라에서 자생하는 자작나무도 나무껍질이 여러개 겹쳐져 있다.  
(www.saemga.com/gnu4/bbs/board.php?bo\_table=travel&wr\_id=216&page=7)  
(我が国に自生する白樺も木の皮がいくつも겹쳐져 [gyeopchyeojeo](≒重なって)いる)
- (9) 삼겹살은 돼지 갈비에 붙어있는 살코기와 지방이 세번 겹쳐져 있다하여 붙여진 이름이다. (grandvin.co.kr/bbs/board.php?bo\_table=notice&wr\_id=1071)  
(三枚肉はブタのカルビについている精肉と脂肪(脂身)が3回겹쳐져 [gyeopchyeojeo](≒重なって)いるためについた名前である)
- (10) 이는 대형 송수관 두 개가 위 아래로 겹쳐 있는 데다, (이하 생략)  
(www.idomin.com/news/articleView.html?idxno=183992)  
(これは大型送水管2つが上下に겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)いる上に、(以下略))
- (11) 앞 쪽엔 소삼도 그리고 옆쪽으로 중삼도가 보이고 뒤로 겹쳐져 길게 대삼도가 자리하고 있다. (www.kagopa.com/city3000/6452)  
(前のほうに小三島、そして隣には中三島が見え、後ろに겹쳐져 [gyeopchyeojeo](≒重なって)長く大三島が位置している)
- (12) 창덕궁 뒤로 도심의 겨울풍경이 겹쳐져 보인다.  
(image.newsbank.co.kr/imp/news/view.aspx?idm=2303287)

- (昌徳宮の後ろに都心の冬の風景が겹쳐져 [gyeopchyeojeo](≒重なって)見える)
- (13) 그리고 각각의 테이프는 끝부분이 조금 겹쳐지게 감는다.  
(www.hanalpine.or.kr/tech/trad\_rock/taping.html)  
(そして各々のテープは端の部分が少し겹쳐지게 [gyeopchyeojige](≒重なるように)巻く)

まず、겹치다 [gyeopchida] の対象は「複数の同類または異なる事物同士」であることが分かる。例 (7) と (8) では「ティッシュ」「白樺の皮」という複数の同類の事物が対象となっており、例 (9) では「精肉」と「脂肪(脂身)」という2つの異なる事物同士が対象となっている。

また、例 (10)~(12) から分かるように、「複数の同類または異なる事物同士」は、「上下」または「前後」の位置関係にあると考えられる。

さらに、複数の同類または異なる事物同士の「位置関係」は「同一の物理的空間に、実際または知覚上、密接して位置する」ということになる。例えば、例 (7) は「一枚の四角いティッシュは2枚の薄いティッシュからなっている」ということから分かるように、「同一の物理的空間に実際に密接して位置している」ということになる。

一方で、例 (11) の場合は「中三島と大三島の間」は空間的にかなり離れているが、それが主体にとって(つまり、知覚上)「前後に密接して位置している」ものとしてとらえられている。また、例 (12) の場合も「昌徳宮と都心の冬の風景との間」は空間的にかなり離れているが、主体にとって(つまり、知覚上)「前後に密接して位置している」ものとしてとらえられている。

なお、複数の同類または異なる事物同士の「位置関係」は例 (7) のように、一方が他方を完全に覆いかぶるように位置してもよく、例 (13) のように、部分的であってもよい(注6)。

## 2.2.2. 多義的別義 (2) : <複数の事柄が><同一の抽象(認識)空間に><知覚上密接して><位置する>

- (14) 이 벽화는 단지 규모가 거대해서가 아니라 컬러와 흑백 이미지가 겹쳐 있다는 사실이 매우 놀라워 사람들의 주목을 끌고 있다.  
(この壁画はただ規模が巨大だからではなく、カラーと白黒のイメージが겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)いるという事実が非常に驚きで、人々の注目を引いている)
- (15) 어떤 분을 만났는데 그분이 저를 대하는 모습과 선생님에 대한 생각이 겹쳐졌

어요. (www.mokpan.com/Board/freeboard\_view.asp?seq=4474&goPage=101)  
 (ある方に出会いましたが、その方の私を接する姿と先生に対する思いが 겹쳐졌어요 [gyeopchyeojeosseoyo]( ≒重なりました))

- (16) 바람소리와 물소리가 겹쳐 잘 들리지도 않았지만, (이하 생략)  
 (www.jjn.co.kr/news/quickViewArticleView.html?idxno=452097)  
 (風の音と水の音が 겹쳐 [gyeopchyeo]( ≒重なって)良く聞こえなかったが、(以下略))

- (17) 커피의 구수한 냄새와 발아현미의 구수한 맛이 겹쳐 퓨전커피가 됩니다.  
 (cafe.naver.com/...&page=7&menuid=110&boardtype=L&articleid=341)  
 (コーヒーの香ばしい香と発芽玄米の香ばしい味が 겹쳐 [gyeopchyeo]( ≒重なって)ピュージョンコーヒーになります)

別義(2)における 접치다 [gyeopchida] の対象は、「想い」「イメージ」「聴覚」「味覚」などの抽象的な事柄である。また、複数の事柄間の「位置関係」も「抽象(認識)空間」における位置関係であることが分かる。

なお、別義(2)は別義(1)と類似性が認められることから、隠喩(メタファー)による意味の転用であると考えられる。つまり、<複数の事柄が><同一の空間に><知覚上密接して><位置する>という共通の意味特徴が認められるということである(物理空間から抽象空間への写像)。

### 2.2.3. 多義的別義(3): <複数の事柄の間で><何らかの点で><一致する要素が><認められる>

- (18) 미쯔비시의 이미지는 일본 그 자체와 겹치는 점이 있다. (KAIST:3688)  
 (三菱のイメージは日本それ自体と 겹치는 [gyeopchineun]( ≒重なる)点がある)
- (19) 신세계 백화점의 경우 삼풍백화점과 거래선이 겹치는 협력업체가 1백 10 여개에 달하는 것으로 보고 있다. (KAIST:2835)  
 (新世界百貨店の場合、三豊百貨店と取引先が 겹치는 [gyeopchineun]( ≒重なる)協力企業が百十数カ所に達するものと見ている)
- (20) 우리 분석으로는 최 사장 표하고 변 의원 표가 겹치는 부분이 많아요. (KAIST:78)  
 (私たちの分析では、崔社長の票と卞議員の票が 겹치는 [gyeopchineun]( ≒重なる)部分が多いです)
- (21) 내용면에서는 Top 5001 편과는 거의 겹치는 부분이 없습니다.

([designbooks.co.kr/shop/sub\\_detail.asp?idx=1518&g\\_cate1=A1&...&k=0](http://designbooks.co.kr/shop/sub_detail.asp?idx=1518&g_cate1=A1&...&k=0))

(内容の面では Top 5001 編とはほとんど 겹치는 [gyeopchineun](≒重なる)部分がありません)

別義(3)は、まず、別義(2)と同様に「複数の抽象的な事柄が同一の抽象(認識)空間に位置する」場合に用いられる。ただし、別義(2)と異なるのは、視覚などでとらえた対象について、さらに一歩進んで、何らかの判断を下しているという点である。というのは、通常我々は外界の対象に対して、感覚器官を通してただ単に知覚するだけではなく、さらにその対象について、深く理解したり、何らかの判断を下そうとする場合が多いと考えられるからである。その結果として、複数の事柄について「何らかの点で一致する要素に気づく」ということもできるのである。

なお、別義(3)は別義(2)から時間的隣接に基づく換喩(メトニミー)によって意味拡張が成り立っていると考えられる。つまり、視覚などの感覚器官を通して知覚する行為と、その対象の知覚だけではとらえられない側面を理解し、判断を下す行為とが、時間的に隣接(連続)して生じているということである(注7)。

#### 2.2.4. 多義的別義(4): <複数の事態が><同一の時間・期間(帯)に><起こる>

(22) 4 개 대학 졸업식이 겹치게 됐다. (KAIST:179)

(4つの大学の卒業式が겹치게 [gyeopchige](≒重なるように)なった)

(23) 세미나 때문에 듣고 싶은 수업이 있어도 시간이 겹쳐 신청하지 못했다.

([www.ssueye.com/news/articleView.html?idxno=1161](http://www.ssueye.com/news/articleView.html?idxno=1161))

(セミナーのために、受けたい授業があっても時間が겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)申請できなかった)

(24) 어제는 2 개 프로그램의 방송이 겹쳐 바빴습니다.

([www.3asian.com/zboard/zboard.php?id=k0211122&no=4363](http://www.3asian.com/zboard/zboard.php?id=k0211122&no=4363))

(昨日は2つの番組放送が겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)忙しかったです)

(25) 요즘은 휴가철이 빨라져서 장마기와 겹치기 때문에, (이하 생략)(KAIST:2622)

(この頃は休暇シーズンが早まって、梅雨時期と겹치기 [gyeopchigi](≒重なる)ために、(以下略))

以上の例から分かるように、겹치다 [gyeopchida] の対象は、「複数の事態」となる。また、その複数の事態間の位置関係は「同一の時空間に位置する」というようにとらえること

ができる。

例えば、例 (22) は「4つの大学の卒業式が同じ時間帯（日）に設定された」というように解釈することができる。また、例 (23) の場合も文の状況から分かるように、「セミナーの時間と受講したい科目の開講時間が同じであるため、受講申請ができなかった」というようにとらえることができる。

さて、別義 (4) は別義 (1) と類似性が認められることから、隠喩（メタファー）による意味の転用であると考えられる。つまり、＜複数の事柄が＞＜同一の空間に＞＜位置する＞という共通の意味特徴が認められるということである（物理空間から抽象空間（時空間）への写像）。

## 2.2.5. 多義的別義 (5) : <同様の傾向の事柄が><連続して><起こる>

- (26) 어찌해서 이렇게 혹독한 재앙이 겹치는 것일까? (KAIST:7)  
 (どうしてこんな苛酷な災難が겹치는 [gyeopchineun](≒重なる)のであろうか)
- (27) 흉년이 겹쳐 먹고살기가 힘들어진 백성들은 고향을 등지고 유랑민이 되었다.  
 (<http://kr.blog.yahoo.com/kkkh4486/1039>)  
 (凶作が겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)生活が苦しくなった農民たちは故里を後にし、流浪民になった)
- (28) 빨라진 KCC 의 스피드에 많이 대비했는데 초반에 실수가 겹쳐 많이 밀렸다.  
 (<http://www.seoul.co.kr/news/newsView.php?id=20090101024013>)  
 (速くなった KCC のスピードにいろいろと準備したが、序盤にミスが겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)かなり押された)
- (29) 어느 의사가 야근이 겹쳐 몹시 피곤했던 나머지, 환자의 가슴에 청진기를 대고는 깜박 졸고 말았다. (<http://blog.naver.com/eggdegul/60028180663>)  
 (ある医者が夜勤が겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)あまりにも疲れて、患者の胸に聴診器を当てたまま居眠りをしてしまった)

以上の例から分かるように、別義 (5) における겹치다 [gyeopchida] の対象は、「同様の傾向の事柄」としてとらえられる。つまり、例 (26) は「苛酷な災難として考えられる」事柄が複数であるということであり、例 (27) は「凶作として判断される」事柄が複数であるということになる。

次に、以上に例において問題となっている事柄は「連続して起きる」ものとしてとらえられる。例えば、例 (28) は「序盤のミスが続いた」ということになる。また、例 (29) の場合も「医者の夜勤が続いた」というように解釈することができる。



なお、別義(5)は別義(2)と類似性が認められることから、隠喩(メタファー)による意味の転用であると考えられる。つまり、<複数の事柄が><同一の抽象(認識)空間に><位置する>という共通の意味特徴が認められるということである。

## 2.2.6. 多義的別義(6): <ある事柄が><何らかの結果を引き起こす><さらなる要因として><認められる>

- (30) 이로 인해 집중력이 떨어진 수비수들의 실책까지 겹쳐 5 이닝 동안 6 실점하고 말았다. ([http://book.naver.com/bookdb/book\\_detail.php?bid=4481998](http://book.naver.com/bookdb/book_detail.php?bid=4481998))  
(これにより、集中力の落ちていた守備の失策まで겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)5 이닝の間に6失点してしまった)
- (31) 생산 과잉으로 경제적 불황이 생기고, 그에 따라 대량 실업이라는 사회 문제까지 겹치게 되어 노동자들의 생활은 더욱 궁핍해져 갔다. (KAIST:174)  
(生産過剰で経済的不況が生じ、それにより大量失業という社会問題まで겹치게 [gyeopchige](≒重なるように)なり、労働者たちの生活はさらに窮乏していった)
- (32) 박정권이 종말을 고하면서 찾아든 정치적 혼란에다가 제 2 차 오일쇼크까지 겹치면서 경제에 또 한차례의 시련을 겪게 된 것. (KAIST:2836)  
(朴政権が終末を告げながら訪れた政治的混乱に、第2次オイルショックまで겹치면서 [gyeopchimyeonseo](≒重なって)、経済においても一度の試練を経験するようになったわけである)
- (33) 수출과 투자가 크게 줄은 데다가 소비위축마저 겹쳐 경제성장률이 둔화되고 있고, (이하 생략) (<http://blog.daum.net/vuvhvn62/5083551>)  
(輸出と投資が大幅に減少したのに加えて、消費萎縮まで겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)経済成長率が鈍化しており、(以下略))

まず、この場合の겹치다 [gyeopchida]の対象は、「何らかの結果を引き起こす要因(原因)」としてとらえられていることが分かる。

例えば、例(30)では、「守備の失策」が겹치다 [gyeopchida]の対象となっており、それは「5 이닝の間に6失点した」という結果を引き起こす要因としてとらえられている。また、例(31)では「大量失業という社会問題」が겹치다 [gyeopchida]の対象となっており、それは「労働者たちの生活はさらに窮乏していった」という結果を引き起こす要因となっている。

また、問題となっている対象は、複数考えられる要因の中で、「さらなる要因として認められるもの」としてとらえられていると言える。つまり、例(32)は「第2次オ



ルショック」という要因は、複数考えられる要因の中で、「経済においても一度の試練を経験するようになった、さらなる要因として認められるもの」としてとらえられる。また、例(33)の場合も「消費萎縮」という要因は、複数考えられる要因の中で、「経済成長率が鈍化した、さらなる要因として認められるもの」としてとらえられる。

なお、別義(6)は別義(2)と類似性が認められることから、隠喩(メタファー)による意味の転用であると考えられる。つまり、<複数の事柄が><同一の抽象(認識)空間に><位置する>という共通の意味特徴が認められるということである。

### 3. 겹치다 [gyeopchida] の多義構造

以上の考察で明らかとなった겹치다 [gyeopchida] の別義は、以下の通りである。

多義的別義(1)(基本義) : <ある事物の><上下・前後に><同類または異なる事物が><(知覚上)密接して><位置する>

多義的別義(2) : <複数の事柄が><同一の抽象(認識)空間に><知覚上密接して><位置する>

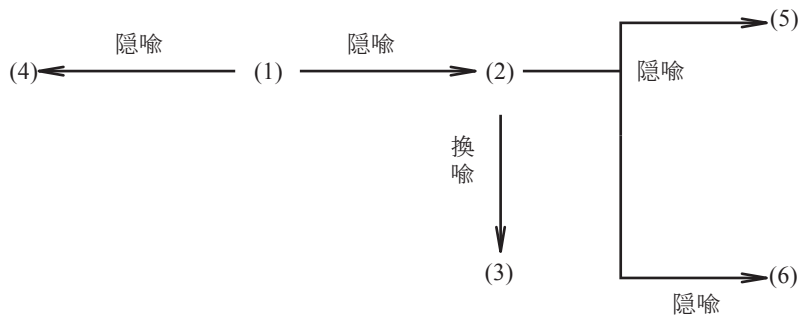
多義的別義(3) : <複数の事柄の間で><何らかの点で><一致する要素が><認められる>

多義的別義(4) : <複数の事態が><同一の時間・期間(帯)に><起こる>

多義的別義(5) : <同様の傾向の事柄が><連続して><起こる>

多義的別義(6) : <ある事柄が><何らかの結果を引き起こす><さらなる要因として><認められる>

なお、겹치다 [gyeopchida] は、以下のような多義構造を成している。



(1) 접시가 겹쳐져서 떨어지질 않는다.

(お皿が겹쳐져서 [gyeopchyeojeoseo](≒重なって)取れない)

- (2) 빗소리와 음악소리가 겹쳐서 들린다.  
(雨の音と音楽の音が겹쳐서 [gyeopchyeoseo](≒重なって)聞こえる)
- (3) 내용적으로 겹치는 부분이 많다.  
(内容的に겹치는 [gyeopchineun](≒重なる)部分が多い)
- (4) 생일이 일요일과 겹치다.  
(誕生日が日曜日と겹치다 [gyeopchida](≒重なる))
- (5) 초반부터 실수가 겹쳐 대량실점을 하고 말았다.  
(序盤からミスが겹쳐 [gyeopchyeo](≒重なって)大量失点をしてしまった)
- (6) 고열이 계속된 원인은, 위장염에다, 감기도 겹쳤기 때문이다.  
(高熱が続いた原因は、胃腸炎に加え、風邪も겹쳤기 [gyeopchyeoki](≒重なった)からである)

#### 注

- 1 国広 (1982:97) は、多義語について『多義語 (polysemic word)』とは、同一の音形に、意味的に何らかの関連を持つふたつ以上の意味が結び付いている語を言う」と定義している。本稿においてもこの定義に従う。
- 2 李 (2008) は日本語の動詞「重なる」の多義構造を明らかにしたものである。本稿で考察する겹치다 [gyeopchida] は後述するように、その多義構造が「重なる」ときれいに対応することが分かる。ただし、겹치다 [gyeopchida] は自動詞として用いられる場合と他動詞として用いられる場合があるが、「重なる」はもっぱら「自動詞」として用いられる。
- 3 初山 (2001:33) は「多義語の複数の意味には相互に何らかの関連が認められるのであるから、個々の多義語の分析にあたり、その関連の実態を明らかにすることが課題となる」とし、「メタファー、シネクドキー、メニミーという3種の比喩が、複数の意味の関連づけに重要な役割を果たすと考えている」と述べている。
- 4 例もすべて初山・深田 (2003) からの引用である。
- 5 逆のパターンの例として「手が足りないから手伝って！」などがあげられる (初山・深田 (2003:83))。
- 6 겹치다 [gyeopchida] は<別義1>に並行して、他動詞として用いられる場合もある。他

動詞としての意味は<ある事物の><上下・前後に><同類または異なる事物が><(知覚上)密接して><位置させる>と記述できる。

① 두께 1 밀리미터의 종이를 절반으로 잘라서 접치면 2 밀리미터가 됩니다.

(KAIST:3669)

(厚さ 1 ミリの紙を半分<sup>に</sup>切って접치면 [gyeopchimyeon] (≒重ねると) 2 ミリになりま  
す)

7 下の例のように別義 (2) とも別義 (3) とも解釈される場合がある。

② 문득, 이 사람과 내 아들 에드워드가 접쳐 보였다. (作例)

(ふと、この人と私の息子エドワードが接ち [gyeopcheo] 見えた)

これについて少し補足すると、初山 (2001:55) は「多義語の複数の意味が、必ず、互いに他の意味と明確に区別されて、非連続的に存在するというのではない」と述べている。

通常、我々が視覚などの感覚器官を通してある対象を知覚した時、その対象を必要なかぎりどこまでも評価し、判断しようとする。つまり、その存在を認知しそこで止まるか、それともその対象に注意を集中してさらなる判断を下そうとするかは、主体の関心のありようや必要性によってさまざまなケースがありうるということである (田中 (1999))。従って、別義 (2) と別義 (3) は必ずしも明確には区別されるわけではなく、切れ目なく連続している。

#### 参考文献

- 池上嘉彦 (1975) 『意味論』、大修館書店 .
- 李 澤熊 (2008) 「動詞『重なる』の多義構造」『名古屋大学日本語・日本文化論集』第 15 号、pp.61-77、名古屋大学留学生センター .
- 大野晋・浜西正人 (1981) 『類語新辞典』、角川書店 .
- 金田一京助・山田忠雄・柴田 武・酒井憲二・倉持保男・山田明雄編 (1997) 『新明解国語辞典』第 5 版、三省堂 .
- 国広哲弥 (1982) 『意味論の方法』、大修館書店 .
- 尚学図書編 (1981) 『国語大辞典』、小学館 .
- 新村 出編 (1998) 『広辞苑』第 5 版、岩波書店 .
- 田中聡子 (1999) 『視覚動詞の意味論』、名古屋大学国際言語文化研究科博士学位論文 .
- 田 忠魁・泉原省二・金 相順編 (1998) 『日本語類似表現のニュアンスの違いを例証する類義語使い分け辞典』、研究社出版 .
- 松村明編 (1995) 『大辞林』、三省堂 .
- 民衆書林編集局編 (1998) 『日韓・韓日辞典』、民衆書林 .

民衆書林編集局編 (2003) 『NEW ポータブル日韓辞典』、三修社。

初山洋介 (1993) 「多義語分析の方法—多義的別義の認定をめぐって—」『名古屋大学日本語・日本文化論集』第1号、pp.35-57、名古屋大学留学生センター。

初山洋介 (2001) 「多義語の複数の意味を統括するモデルと比喻」『認知言語学論考』1、pp.29-58、ひつじ書房。

初山洋介・深田智 (2003) 「第3章 意味の拡張」、松本曜編『認知意味論』(シリーズ認知言語学入門第3巻)、pp.73-134、大修館書店。

#### 例文出典

- (1) 検索エンジン Google (<http://www.google.co.jp/>)
- (2) 青空文庫検索ページ (<http://www.jca.apc.org/~earthian/aozora/lsearch.html>)
- (3) 検索デスク (<http://www.searchdesk.com/>)
- (4) 検索エンジン다음 넷 (<http://www.daum.net/>)
- (5) KAIST Concordance Program (<http://csfive.kaist.ac.kr/kcp/>)